

MONEX Global Retail Investor Survey



December 2021

MONEX グローバル個人投資家サーベイ 第 29 回 2021 年 12 月調査 **マネックス証券株式会社**
www.monex.co.jp

個人投資家の皆様の相場環境に対する意識調査のため、マネックス証券でお取引をする個人投資家の皆様に 2021 年 11 月 19 日～11 月 28 日の期間でアンケートを実施しました。ご回答くださった皆様のご協力に感謝いたします。誠にありがとうございました。
(当社ウェブサイトへの掲載日は、2021 年 12 月 15 日です。)

今回は、グループ会社である TradeStation Securities, Inc. (米国) および Monex Boom Securities (H.K.) Limited (香港) の個人投資家の皆様にも同様のアンケートを行い、個人投資家の皆様の現在の相場観等を「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」としてまとめました。グローバルな意識調査が資産運用の一助となれば幸いです。

「MONEX 個人投資家サーベイ」は 2009 年 10 月より、「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」は 2011 年 6 月より実施しております。

※ 調査について

- ・ MONEX グローバル個人投資家サーベイは、2011 年 6 月～2016 年 6 月までは原則四半期毎、2016 年 12 月より半年毎、2019 年より 1 年毎に調査しております。
- ・ 日本限定の個人投資家サーベイは、2009 年 10 月から 2016 年 4 月までは毎月、2016 年 6 月から 2016 年 12 月までは 2 ヶ月毎、2017 年 3 月から現在まで四半期毎に調査しております。

■調査結果の要約

1. グローバル調査結果 調査対象：日本、米国、中国（香港）の個人投資家

(1-1) 世界の株式市場見通し DI ^(注) は米中は低下、日本は大幅上昇

各地域の個人投資家に今後3ヶ月程度の世界の株式市場に対する見通しを尋ねたところ、日本の投資家は前回調査（2020年12月実施）からDIが大きく上昇しました。一方で米国と中国の個人投資家は前回からそれぞれ低下しました。

【世界の株式市場見通し DI】

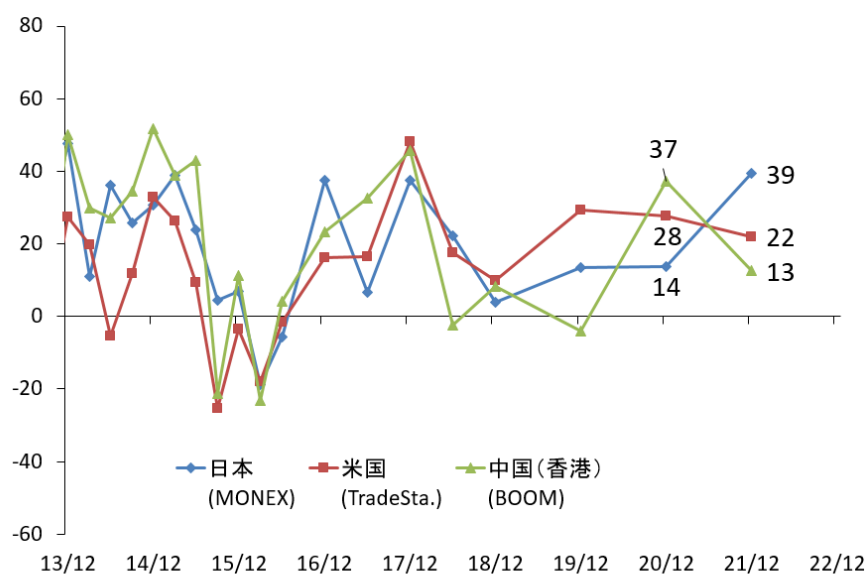
日本： (2020年12月) 14 → (2021年12月) 39 (前回比+25ポイント)

米国： (2020年12月) 28 → (2021年12月) 22 (前回比 -6ポイント)

中国（香港）： (2020年12月) 37 → (2021年12月) 13 (前回比-24ポイント)

グラフ1: 個人投資家の世界の株式市場に対する見通しDI

(日本、米国、中国(香港)の個人投資家)



(出所) マネックス証券作成

注) DI (diffusion index)

「上昇すると思う」、「よくなると思う」と回答した割合 (%) から「下落すると思う」、「悪くなると思う」と回答した割合 (%) を引いたポイント

(1-2) 3 地域の個人投資家とも米国への期待が最も高い割合に

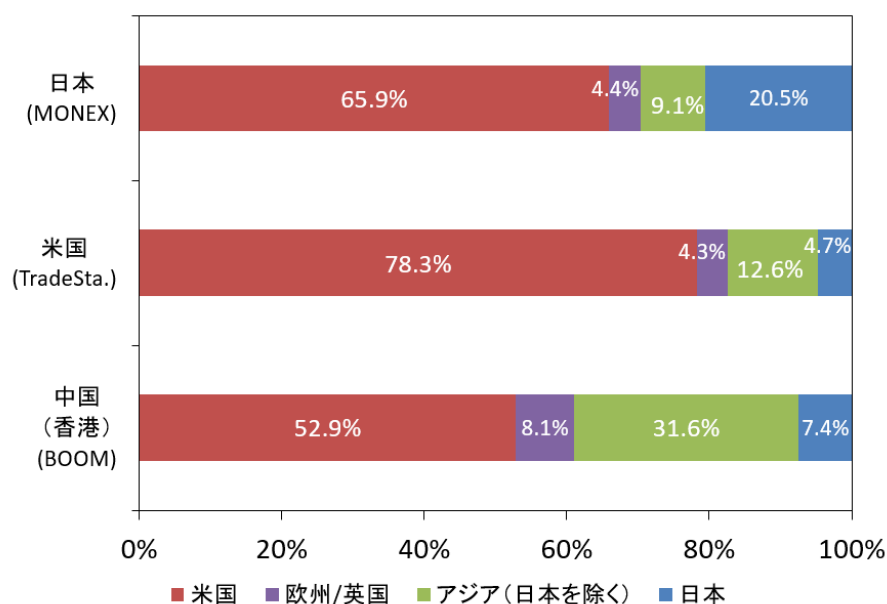
今後3ヶ月で株価の上昇が最も期待できる地域について、3地域の個人投資家とも「米国」と回答した割合が最も高くなりました。世界経済の中心である米国に対して今後も株価上昇が期待できると考えている投資家が多いようです。

【今後3ヶ月のマーケットへの期待度】

日本	米国：65.9%、欧州/英国：4.4%、アジア（日本を除く）：9.1%、日本：20.5%
米国	米国：78.3%、欧州/英国：4.3%、アジア（日本を除く）：12.6%、日本：4.7%
中国（香港）	米国：52.9%、欧州/英国：8.1%、アジア（日本を除く）：31.6%、日本：7.4%

グラフ2-1: 今後3か月程度で、どの地域のマーケットが上昇すると思いますか

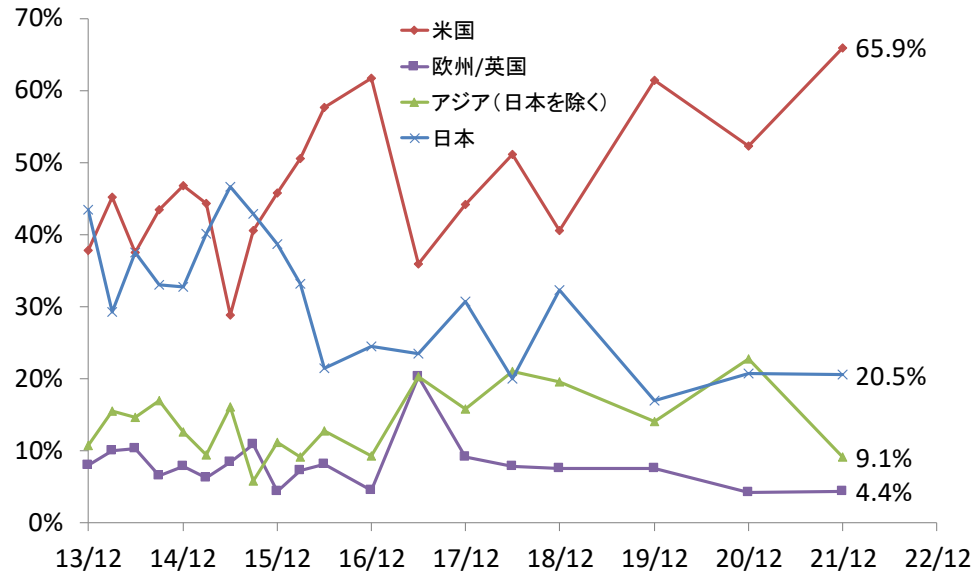
(日本、米国、中国(香港)の個人投資家)



(出所) マネックス証券作成

グラフ2-2: 今後3か月程度で、どの地域のマーケットが上昇すると思いますか

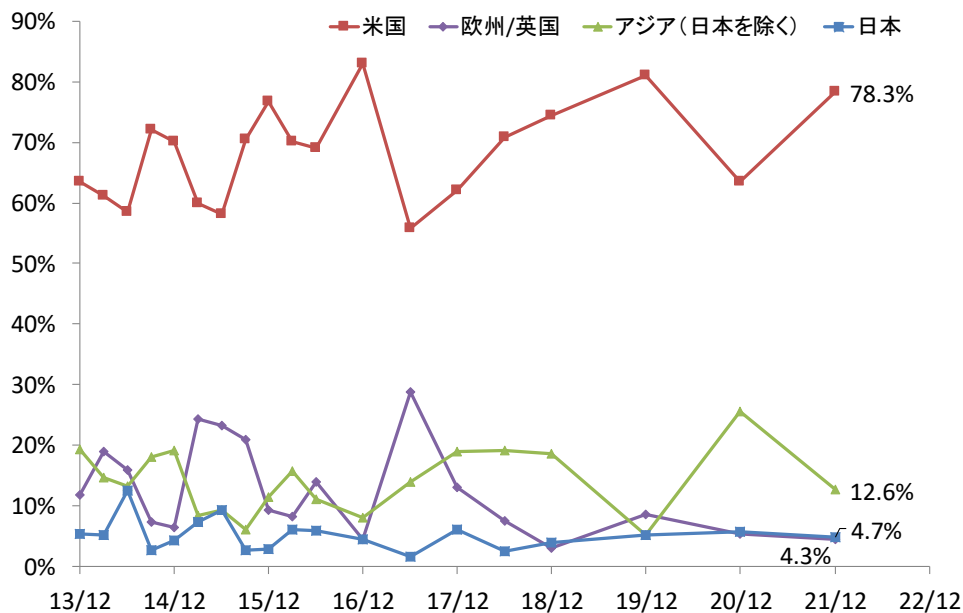
(日本の個人投資家) 推移



(出所) マネックス証券作成

グラフ2-3: 今後3か月程度で、どの地域のマーケットが上昇すると思いますか

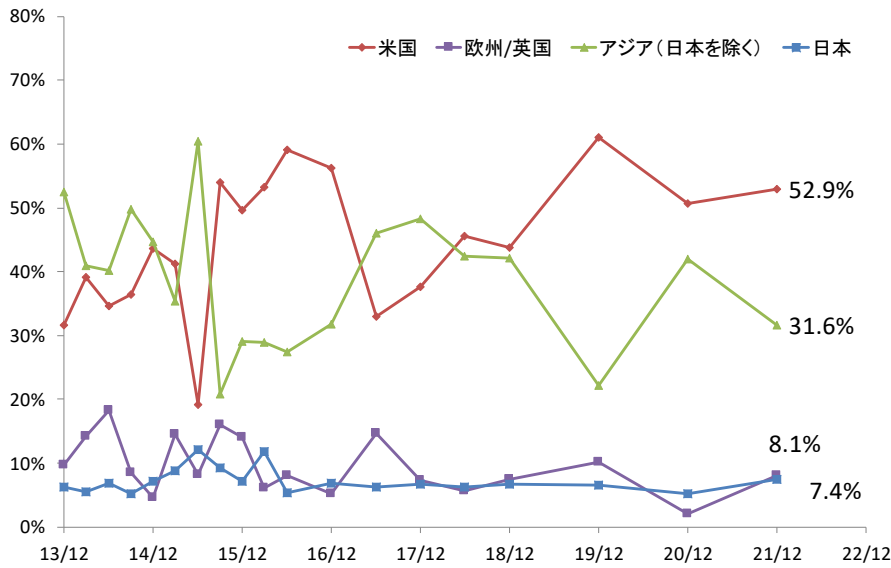
(米国の個人投資家) 推移



(出所) マネックス証券作成

グラフ2-4: 今後3か月程度で、どの地域のマーケットが上昇すると思いますか

(中国(香港)の個人投資家) 推移



(出所) マネックス証券作成

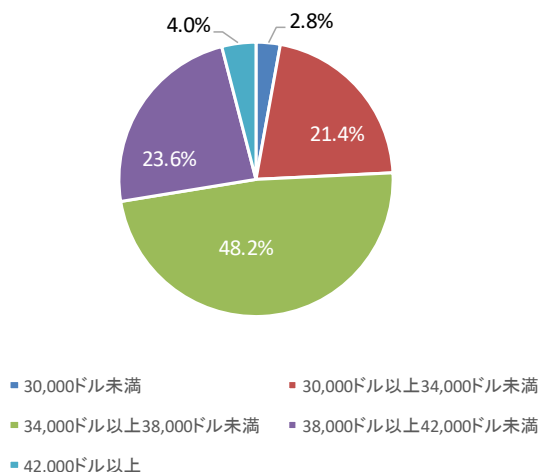
(1-3) 2022年の米国マーケット予想、日本、中国(香港)ともNYダウ平均の高値を34,000~38,000ドルと考える個人投資家が最多

日本と中国(香港)の投資家に2022年のNYダウ平均の高値予想、安値予想を尋ねました。日中の投資家とも2022年の高値を34,000ドル~38,000ドルと予想した投資家の割合が最も高くなりました。安値については両地域とも27,000ドル以上31,000ドル未満が最多となりました。11月末時点でNYダウ平均は34,483ドルであり各国の投資家とも一定の調整に警戒しているようです。

(日本、中国(香港)の個人投資家による2022年の米国マーケット予想)

グラフ3-1: ダウ平均最高値予想

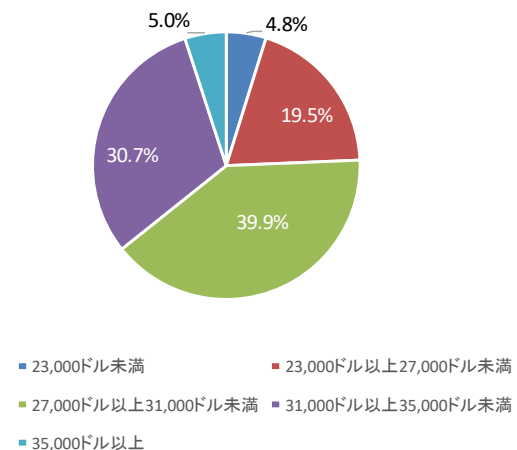
(日本の個人投資家)



(出所) マネックス証券作成

グラフ3-2: ダウ平均最安値予想

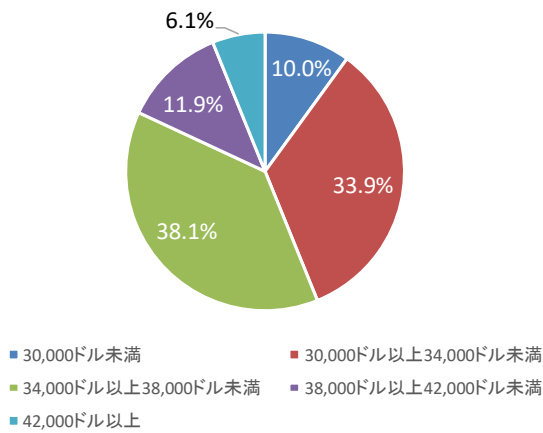
(日本の個人投資家)



(出所) マネックス証券作成

グラフ3-3: ダウ平均最高値予想

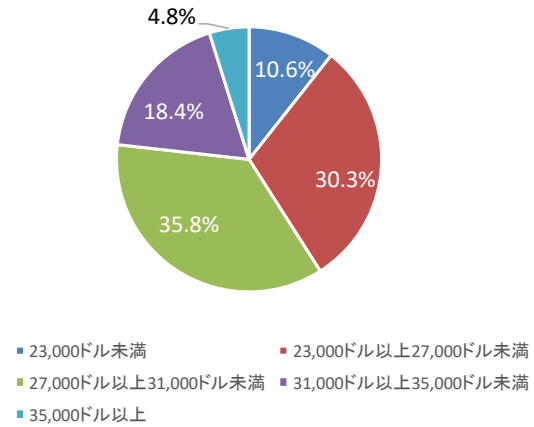
(中国<香港>の個人投資家)



(出所)マネックス証券作成

グラフ3-4: ダウ平均最安値予想

(中国<香港>の個人投資家)



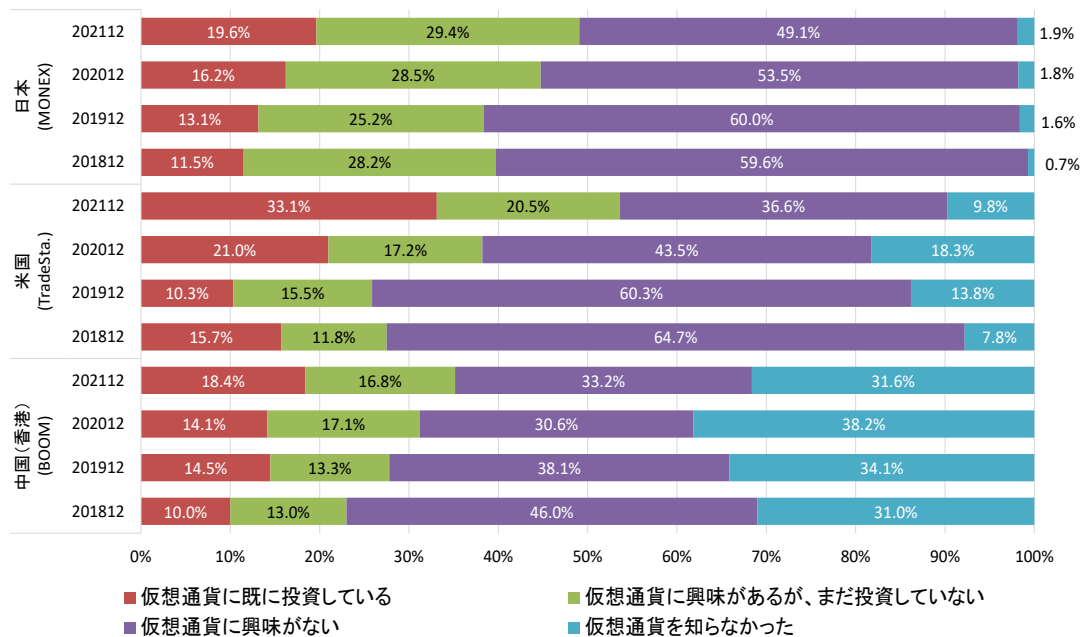
(出所)マネックス証券作成

(1-4) 3 地域そろって暗号資産に投資している投資家の割合が過去最高に

「ビットコイン」など話題になっている「暗号資産」への投資経験や意欲について調査を行いました。既に暗号資産に投資している個人投資家の割合は日本が 19.6%、米国が 33.1%、中国（香港）が 18.4%とそれぞれ調査開始以来最高となりました。個人投資家の暗号資産への投資はグローバルに広がっているようです。

グラフ4: 暗号資産(仮想通貨)への投資について

(日本、米国、中国(香港)の個人投資家)



(出所)マネックス証券作成

2. 日本限定の調査結果（四半期に1回） 調査対象：日本の個人投資家

(2-1) 米国株 DI が上昇

日本の個人投資家の今後3ヶ月程度の各国（日本、米国、中国）株価の見通しは、日本株と中国株は低下した一方で米国株は前回調査の46から56に上昇しました。

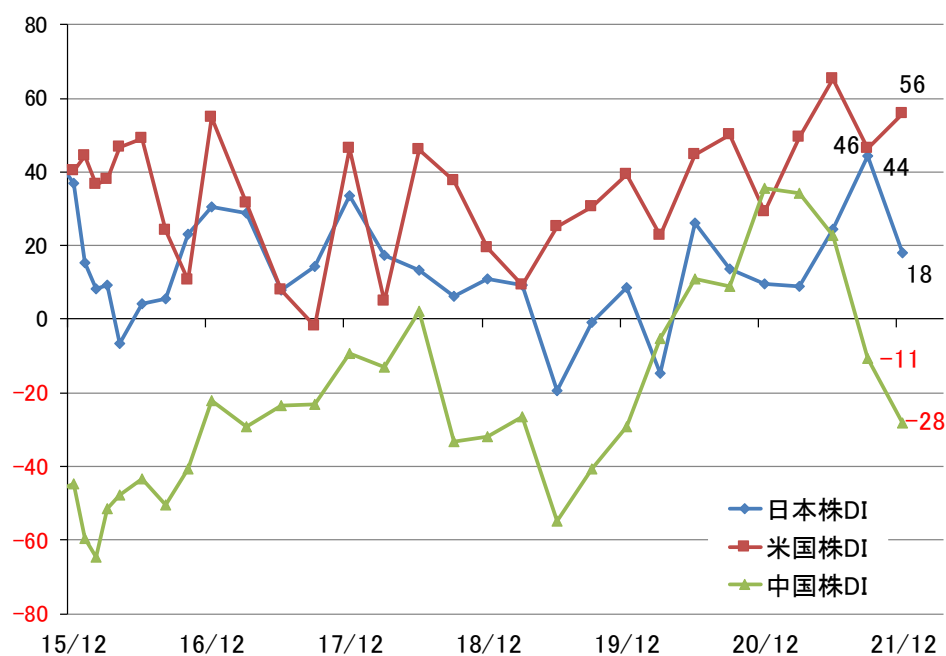
【日本株 DI】（2021年9月） 44 → （2021年12月） 18 （前回比 -26ポイント）

【米国株 DI】（2021年9月） 46 → （2021年12月） 56 （前回比 +10ポイント）

【中国株 DI】（2021年9月） -11 → （2021年12月） -28 （前回比 -17ポイント）

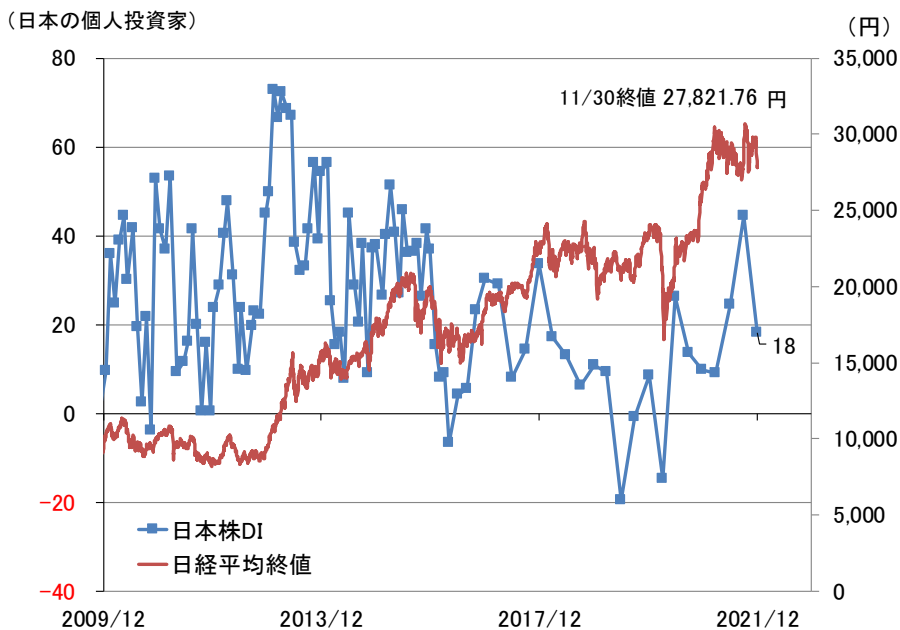
グラフ5-1：今後3ヶ月程度の株価予想

（日本の個人投資家）



（出所）マネックス証券作成

グラフ5-2: 日経平均株価(終値)と日本株DIの推移



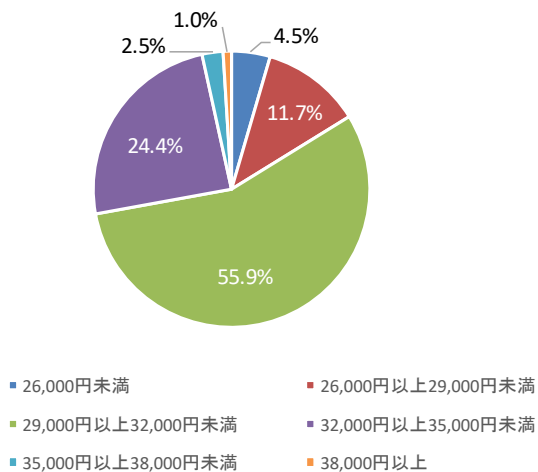
(出所) マネックス証券作成

(2-2) 2022年の株価見通し、日経平均の高値予想は大幅な上昇を見込まず 29,000円-32,000円が 55.9%と最多

日経平均の2022年の高値および安値の予想を尋ねました。日経平均の高値予想は29,000円-32,000円が55.9%と最も多くなりました。安値予想は25,000円-28,000円が41.3%で最も多くなっています。11月末時点の日経平均は27,821円であり、高値安値とも足元から若干の変動を予想している投資家が多いことがわかりました。

グラフ6-1: 日経平均最高値予想

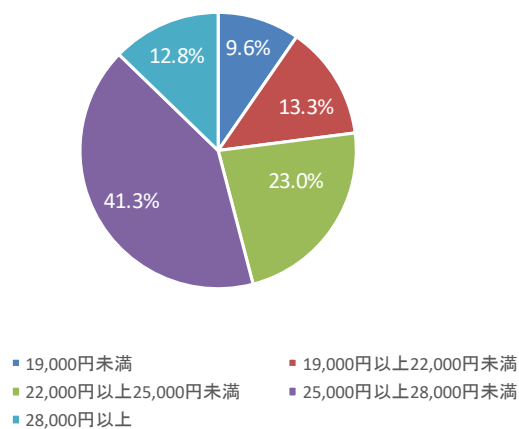
(日本の個人投資家)



(出所) マネックス証券作成

グラフ6-2: 日経平均最安値予想

(日本の個人投資家)



(出所) マネックス証券作成

総括（マネックス証券 マーケット・アナリスト 益嶋裕）

「MONEX グローバル個人投資家サーベイ」、第29回の結果をお届けします。

2021年も新型コロナウイルスに振り回された1年となりました。年末が近づいてきてから新たな変異株の感染が広がっていることも明らかとなり世界的に株価が調整しました。

ただこうしたなかでも世界経済の中心である米国の経済は非常に好調です。12月3日に発表されたISM非製造業指数は69.1と統計開始以来最高の数値となりました。雇用も順調に回復しておりこのままいけば2022年にはコロナ前の労働者数を取り戻す可能性が高そうです。米国経済がしっかりしているため、その他の先進国の経済情勢も概ねしっかりしています。

好調な経済状況を背景に2022年は株高の1年となるのか、それとも波乱が待っているのか現時点ではわかりませんが、少しでも個人投資家の皆様のお役に立てるよう来年も当社のアナリスト陣を中心として全社一丸となり情報発信に努めてまいります。

今回も皆様方のご協力で、大変貴重なデータを作成・分析することができました。本当にありがとうございました。今回のサーベイが個人投資家の皆様方の投資判断の一助となれば幸いです。

（2021年12月6日執筆）

■調査の概要と回答者の属性

(日本)

調査方式： インターネット調査
 調査対象： マネックス証券でお取引をする個人投資家
 回答数： 1,019 件
 調査期間： 2021 年 11 月 19 日～11 月 28 日

【性別】

男性	女性	回答しない
82.7%	15.6%	1.7%

【年齢】

未成年	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上
0.6%	1.3%	10.9%	24.9%	32.6%	19.9%	9.8%

【金融資産】

500万未満	500万～1000万	1000万超～2000万	2000万超～5000万	5000万超～1億	1億超
18.8%	16.9%	20.0%	25.8%	12.9%	5.6%

【売買頻度】

デイトレ	週に数回	月に数回	数ヶ月に1回	それより少ない
2.8%	17.0%	38.2%	28.0%	14.0%

【株式投資のご経験】

1年未満	1年～5年	5年～10年	10年超
4.3%	21.1%	17.7%	56.9%

(米国)

調査方式： インターネット調査
 調査対象： TradeStation Securities, Inc.でお取引をする個人投資家
 回答数： 737 件
 調査期間： 2021 年 11 月 19 日～11 月 28 日

(中国 (香港))

調査方式： インターネット調査
 調査対象： Monex Boom Securities (H.K.) Limited でお取引をする個人投資家
 回答数： 310 件
 調査期間： 2021 年 11 月 23 日～11 月 26 日

本情報はグループ各社が実施したアンケートに基づいて作成したものです。

- ・本情報は売買のタイミングなどを反映したものではなく、また示唆するものではありません。
- ・当社は記載した銘柄の取引を推奨し、勧誘するものではありません。
- ・当社は本情報の内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。
- ・銘柄選択や売買タイミングなどの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。
- ・本サーベイは、グループ各社において実施したアンケートの集計結果をまとめたものでありグループ会社間において個人情報の授受は行っておりません。
- ・グラフの数値について小数点以下の計算により、合計が必ずしも 100.0%とならない場合があります。

マネックス証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 165 号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、
一般社団法人 日本暗号資産取引業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会